

## 標識と信号で広がる鉄の世界 正誤表

ページ	位置	誤	正
16	図4のキャプション	20パーミルと30パーミルの勾配	20パーミルと <b>80</b> パーミルの勾配
18	下から2行目	東海道本線をクロスオーバーし、	東海道本線を <b>オーバー</b> クロスし、
23	下から3行目	図8は東海道本線・尾張一宮駅	図 <b>9</b> は東海道本線・尾張一宮駅
24	1行目	図9は東海道本線・大垣駅	図 <b>10</b> は東海道本線・大垣駅
24	下から2行目	図10は東海道本線の貨物線	図 <b>11</b> は東海道本線の貨物線
40	3行目	模様が <b>が</b> 対角線上に	模様が対角線上に
50	図4の番号	図3 図4 専用の支柱に	図 <b>4</b> 専用の支柱に
51	図5の番号	図3 図5 この先は建設中	図 <b>5</b> この先は建設中
53	図2	戦車戦区分標	<b>電車線</b> 区分標
55	3行目	能登川－安土駅間で	能登川－安土間で
55	下から2行目	緑色の「切」が、	緑色の「切」を、
56	下から2行目	図1や図2の饋電入切標は、 <b>回転</b> 回転機構で表示を切り換える、回転式。	図 <b>8</b> や図 <b>9</b> の饋電入切標は、回転機構で表示を切り換える <b>タイプ</b> 。
82	2行目	東海道本線・関ヶ原駅の	東海道本線・ <b>柏原</b> 駅の
111	コラム	<b>・位相区分セクション</b>	(削除する)
112	下から6行目	図3は、	図 <b>2</b> は、
179	コラム 図番号	図8 移動禁止の赤旗	図 <b>6</b> 移動禁止の赤旗
183	図6の番号	図4 図6 隣接駅の表示が	図 <b>6</b> 隣接駅の表示が
191	図5	プラットフォーム	プラット <b>ホーム</b>
193	図2と図3	プラットフォーム	プラット <b>ホーム</b>
194	下から5行目	図3は、	図 <b>5</b> は、
227	1行目	出発信号機が停止信号(橙色灯が点灯)	出発信号機が停止信号( <b>赤色</b> 灯が点灯)
227	2行目	注意信号のときは	注意信号( <b>橙黄色</b> 灯が点灯)のときは
234	5行目	「中央本線のの上り本線」	「中央本線のの上り <b>主</b> 本線」
237	2行目	(黄色灯を点灯)	( <b>橙黄色</b> 灯を点灯)
237	3行目	設けるようにしている。	設けた <b>3位式</b> を採用している。
242	1行目	入換信号機は、 <b>灯火の色ではなく灯火の並びで信号現示をする灯列信号機が使われていて、よく見慣れた信号機に比べるとミニサイズだ。</b>	入換信号機は、よく見慣れた信号機に比べるとミニサイズ。
242	6行目	飯田線伊那松島駅	飯田線・伊那松島駅
248	1行目	非自動閉塞区間や特殊自動閉塞区間において、	<b>遠方信号機は、</b> 非自動閉塞区間や特殊自動閉塞区間において、
249	図2のキャプション	遠方信号機の注意を見た列車	遠方信号機の「 <b>注意</b> 」を見た列車
251	下から2行目	信号機の支柱に信号機喚呼位置標	信号機の支柱に信号喚呼位置標
253	図6と図7	プラットフォーム	プラット <b>ホーム</b>
266	下から1行目	不思議だ。の写真、	不思議だ。 <b>右</b> の写真、
274	図6のキャプション	円内は上り方の	円内は上り <b>用</b> の
275	4行目	この入換標識実は入換信号機の頭の部分	この入換標識、実は入換信号機の頭の部分
276	7行目	さらに低く設定されている。	さらに低く <b>抑え</b> られている。
293	右段 8行目	<b>信号機喚呼位置標……………251</b>	(この行は削除)
295	ら行 4行目	<b>力行……………109</b>	(この行は削除)
奥付	著者のURL	<b>Web</b> <a href="http://www.isok.jp">httpwww.isok.jp</a>	<a href="http://www.isok.jp/">http://www.isok.jp/</a>